

TD講習

2025.06.15.日

競技運営委員会 審判部会

- 対象：
 - TD名簿に掲載されている、TD業務や役割の基本を理解した方
- ゴール：
 - 講習会で習得した実践的な知見をもとに、自身が運営として関わる競技会において、求められる品質を担保し、スムーズな運営の実現を**主導**できる

今回の講習では、2024年度の競技会報告の内容をもとに
さまざまな競技会の規模で応用しうる、**実用的な実例や知識**をご案内します

- 新規の掲載を希望される方は、別途ご案内した
 - ① **2023年度の講習の受講**
 - ② **2025年6月中に試験フォームの提出**が必要です。

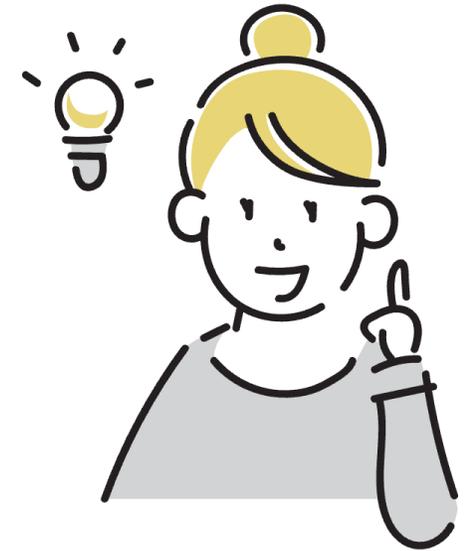
試験フォーム : <https://forms.gle/ZK9KknVguYmhVeGP9>

- 過去事例から得られた改善策
- 競技運営の知見・事例共有 講師：平井さん
- さいごに

過去事例から得られた改善策

過去事例から得られた改善策

1. 会場の特性を理解する
2. 正確で迅速な成績処理を行う
3. 役員間でスムーズなコミュニケーションを行う
4. 選手向けの情報発信のポイント
5. 用具検査の工夫
6. 人員配置の工夫



1. 会場の特性を理解する

電子標的に関するトラブル対策

- 競技開始前に標的を検査する
 - 検査方法は『第3章 競技運営規程 電子標的の競技会事前確認要領』を参照する
https://www.riflesports.jp/member/rule_info/doc/general/rule03_08_Pre-competition_EST_testing_guideline_20250401_V20250221.pdf

第3章 競技運営規程 電子標的の競技会事前確認要領

電子標的の競技会事前確認要領

(2025年4月1日施行)

G1およびG2競技会における電子標的の精度を確認するため、次の要領で電子標的の事前確認を実施する。

1. 射撃場での確認要領

- (1) 電子標的の前面または、装置のすぐ後ろに紙標的と同等の用紙を貼って実射する。弾痕はセンター付近に1発、上下左右7点圏内に4発計5発撃ちこむ。50m標的の場合はライフルの、10m標的の場合はエアピストルの設定を使用する。上下左右の弾痕は8点付近が理想であるが多少ずれても問題ない。

- (2) 50m、10m兼用標的は、それぞれで検定する。

2. 確認する台数

設置後の経過年数に応じて、以下の台数を確認する。

- (1) 設置後7年未満 確認不要
- (2) 設置後7年目以上 半分の台数

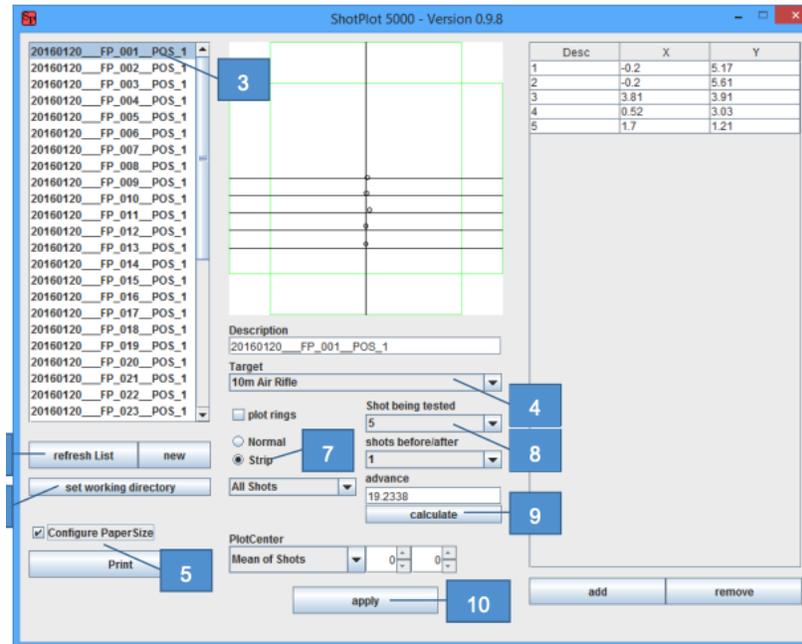
上下左右中央の5発を
各標的に撃ち込む



弾痕 (Shot Plot) を出力する



弾痕 (SHOT PLOT) とロール紙
等を重ねてズレがないか確認する



1. 会場の特性を理解する

- 想定されるトラブル、インシデントへの対応方法を**事前に周知する**
 - IR事例集や、事前の講習会、毎日のMTGで関連セクションに周知し、スムーズに対応できるように**連携を主導する**

例：長瀬射撃場

- 長瀬射撃場の10mESTはロール紙が詰まりやすい
- **毎射群開始前**にロール紙が挟まっていないか、少しロール紙を送って動作に問題がないか確認するように**ROに周知し、徹底する**
- ライフルジュリー、RTSジュリーにロール紙の詰まりによる射座移動の対応フローを**事前に共有する**

10mでのロール紙の詰まり発生時の対応方法

ロール紙の動きの異常による採点異常	
事例	<X>発目が(非表示/採点が正しくない)と申告。ジュリー(名前)は原因がロール紙の動きの異常であるとし、<N>射座に移動。延長時間<M>分。本射前の無制限の試射を許可。射手は新しい射座で<Y>発撃つように指示されている。
適応ルール番号	6.10.6
罰則の付加	特になし

出典：10m IR事例集 (https://www.riflesports.jp/member/rule_info/doc/2024updaterules/10mIR_ex_20240224.pdf)

1. 会場の特性を理解する

■ 会場の必要設備を事前に確認し準備する

- 各日程での参加者が多い大会では、**荷物の置き場所**を用意し周知徹底する
 - 例：インカレ 2024 では通路やスコアボード前に無造作に置かれないように周知、対策した。
- 射撃場の**開場・閉場時間帯**に注意する
 - 例：全日本パラ大会 2024 で射撃場の規定で9時前の発射が禁止されていたが、本選の試射を開始して管理人からの指摘を受けて初めて発覚した。急遽大会スケジュールの変更が必要となった。
- **ドライファイアリングエリア**を用意する
- 特に暑い時期は**十分な広さの選手控え室**を用意する。**冷房設備**はもちろん、**救急対応**の**想定**をしておく。

2. 正確で迅速な成績処理を行う

■ 正確なスタートリスト、速報、確報を掲示する

- 一連のRTS業務に慣れていない競技役員が多いことを念頭に置く
- 事前に主任RTS Juryに業務内容を確認しておく。業務マニュアルを参照する。
- TDとしてスタートリスト（射座割）が正確か確認する**
 - RTS Juryへの委譲も可能
 - 団体やOPステータスは表示されているか？ルールを守れているか？日付や大会名が正しいか？
 - PET前日の16時までには掲示する（6.6.5 a）
- TDとして正確な成績表が掲示板やHPに掲示されていることを確認し、成績表の正しさを保障する**

RTSOの業務マニュアル

大カテゴリ	重要	タイミング	やること	やること詳細	場所	チェック項目	備考
ミーティング		1日の始まり	RTS Juryとのミーティング	(CRTSO) RTS Juryと業務内容の確認合わせを行う		・いつ、誰が、どの種目を担当し割り当てるか ・業務内容の確認合わせ	・基本的にCRTSOが一箇所でIR, AP, CN, 射座割、成績表等の業務を管理する ・何かあったときにすぐに探せるように管理する
		1日の始まり	RTSOでのミーティング	(CRTSO) RTSOを集めて業務内容の確認合わせと備品の配布をする		・業務内容の説明 ・スケジュール（射群ごとの集合時間、終了時間、休憩時間等） ・担当射群（誰がどの射群でどの射座を担当するか）（例：田中さんがARの1射群を担当する） ・CNを配布する ・その他注意事項や連絡事項、等	・各メンバーの経験やスキルも確認する ・CNはHPに掲載されている（HP>会員向け情報>ルール情報）
	★	大会前	射座割を掲示する	射座割を掲示する	スコアボード	・RTS Juryの承認済みの射座割をスコアボードに掲示する	・選手が常に最新の射座割をみられるように ・HPの掲載情報を更新する必要がある場合、組織委員長やTDと連携する
	★	大会前	射座割を配布する	各セッションに射座割を配布する		・RTS Juryの承認済みの射座割をEC, RTS, 射場それぞれに配布する	
		1日の終わり	RTSOでのミーティング	(CRO) ROを集めて連絡・共有を行う		・連絡・共有 ・引き継ぎ事項 ・翌日のスケジュール（集合時間等）	・メンバーから出た不明点や質問を解消するなど

例：ISSF JWC 2025

- PETの時間が誤っており、選手が誤認した
- 最新のスタートリストを射場の掲示板に掲示できておらず、選手の混乱を呼んだ
- TDの承認を経てから掲示するようRTS Juryに指摘があった
- PET前日の正午までは選手の変更ができる (6.6.4.c) ため、入れ替えがないか確認し、最新のエントリーリストを確認した上でスタートリストに反映した

例：ビーム種目成績データ処理システムの活用

- 全日本高校生 2024 ではビーム種目で「Beam Lake」を利用することで、成績表作成をより正確により短時間で実現できた。
- SIUS Rankと連携できるため、軌跡表示、リアルタイムランキング表示、種目を横断した集計が他種目同様対応できる。新ルールやファイナルにも対応でき、SIUS Rankであれば操作できる人員が豊富。

参照：True Tech Works社 Beam Lake <https://beamlake.true-tw.jp/>

例：小規模な競技会でよく起きる事象

- 成績表がすぐに掲示されない
- 抗議締め切り時間が不明（記載されていない）
- スタートリストが事前に掲示されていない



3. 役員間でスムーズなコミュニケーションを行う

■ 大会前に**全体のグループチャット**を用意する

例：国際大会

- 全体のグループチャットで、全体に共通する連絡を行う

例：経費精算、MTG時間と会場、事前の持ち物、表彰のプレゼンター連絡、集合時間やバス時間、食事の連絡等

- 各セクションごとのグループチャットで情報共有を行う

例：RTSでRTSジュリー+RTSOのチャットを用意し、シフト表やスタートリストや成績表の準備状況を共有する

例：ISSF JWC 2025で、RTSジュリーのグループ

チャットは存在していたが機能せず、誰がどこまでスタートリストを作成しているのか、TDへのチェック状況がどうなっているか不明だった

大会ごとに作成されるグループチャットのイメージ

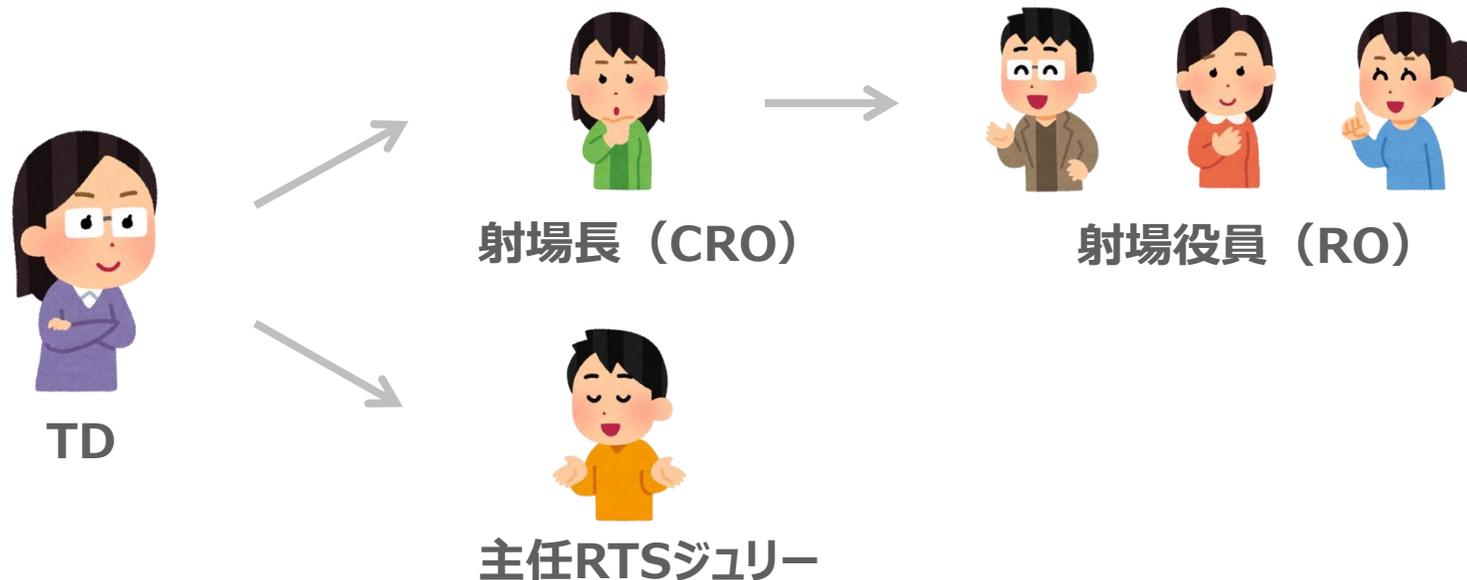


3. 役員間でスムーズなコミュニケーションを行う

■ 大会前に、主任、長には業務内容を**主導して理解・教育**するよう依頼する

- 役員リストを見て、**事前に主任、長と連絡をとっておく**
- 業務マニュアルを活用する 参照：HP>ルール情報 https://www.riflesports.jp/rule_info/
- **主任や長からメンバーに案内するよう、依頼する**
- メンバーの経験状況を見て、必要に応じて講習や事前理解の時間を設ける

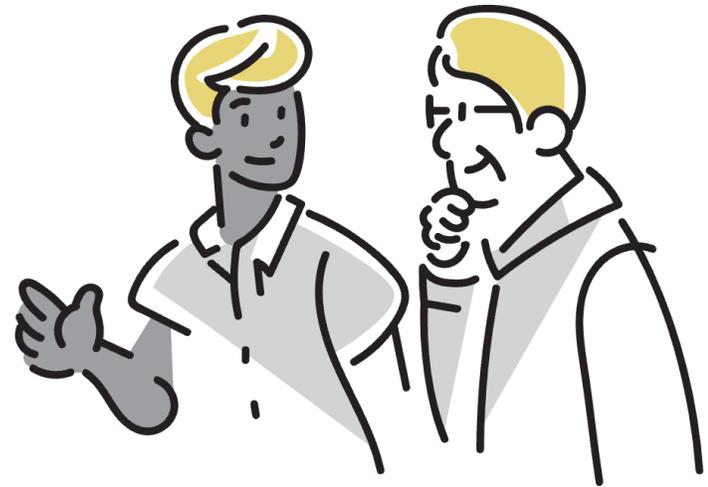
例：インカレ2024 で大会前に特に理解度が低いと想定されたRTS業務講習会を実施した



3. 役員間でスムーズなコミュニケーションを行う

■ 大会中は、**全体やセクションごとのMTG**を実施する

- **主任、長に主導してもらう**ようコミュニケーションを取る
- **TDは主任、長とコミュニケーション**をとり、課題や改善事項がないか確認する
- 得られた情報を参考に、競技会報告や審判員評価を作成し、**競技運営委員会にフィードバック**する
- 次回以降の改善まで主導して行う



4. 選手向けの情報発信のポイント

最新のスケジュールの掲示先を決定し、常に更新する

例：日ラHPと加盟団体HP、現地に掲示されている内容にズレが生まれ、選手が競技時間を誤認する。掲載先を明確にし、変更時のオペレーションを担当者と握る対応が必要。

例：学生選抜2025 担当者の入れ替えが激しく、掲載先や団体を含めた種目数が多いためチェックリストを作成し工夫した。

例：学生選抜2025で使用された、成績表掲示チェックリスト

公開したやつリスト

確認 (紙)					
種目	射群				
個人	AR60	1	2	F	
	AR60W	1	2	F	
	AP60	1			F
	AP60W	1			F
	FR3x20	1	2	F	
	R3x20	1	2	F	
	FR60PR	1	2		
	R60PR	1	2		
	ARMIX	✓ 1	✓ 2	F1	F2
団体	AR60	1	2		
	AR60W	1	2		
	AP60	1			
	AP60W	1			
	FR3x20	1	2		
	R3x20	1	2		
	ARMIX	✓ 1	✓ 2	F1	F2

結果速報 (Sharepoint)					
種目	射群				
個人	AR60	1	2	F	
	AR60W	1	2	F	
	AP60	✓ 1			F
	AP60W	✓ 1			F
	FR3x20	1	2	F	
	R3x20	1	2	F	
	FR60PR	✓ 1	✓ 2		
	R60PR	✓ 1	✓ 2		
	ARMIX	✓ 1	✓ 2	F1	F2
団体	AR60	1	2		
	AR60W	1	2		
	AP60	1			
	AP60W	1			
	FR3x20	1	2		
	R3x20	1	2		
	ARMIX	✓ 1	✓ 2	F1	F2

※ 個人・団体欄に「新団体」の注釈あり

5. 用具検査の工夫

■ 毎朝検査開始前にキャリブレーションが実施されていることを確認する

■ G1、G2大会の用具検査の混雑解消の工夫をする

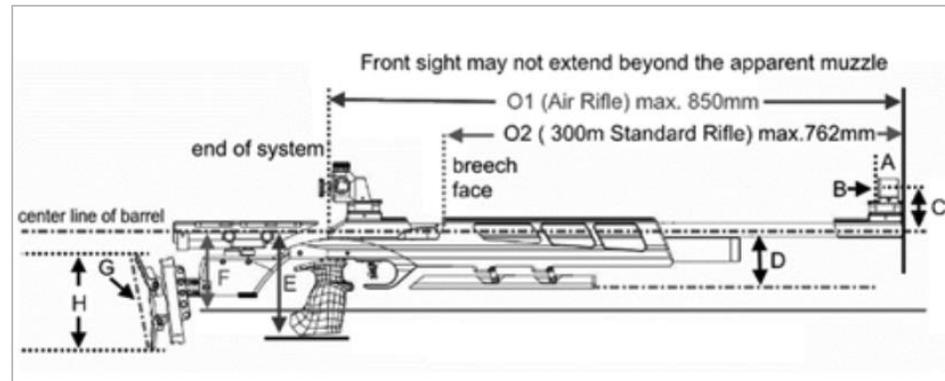
- **G3、G4大会で積極的にワンタイムオンリー検査を導入する**

検査の講習会を企画しています。ぜひご参加ください

- 検査手順をEC間で確認する

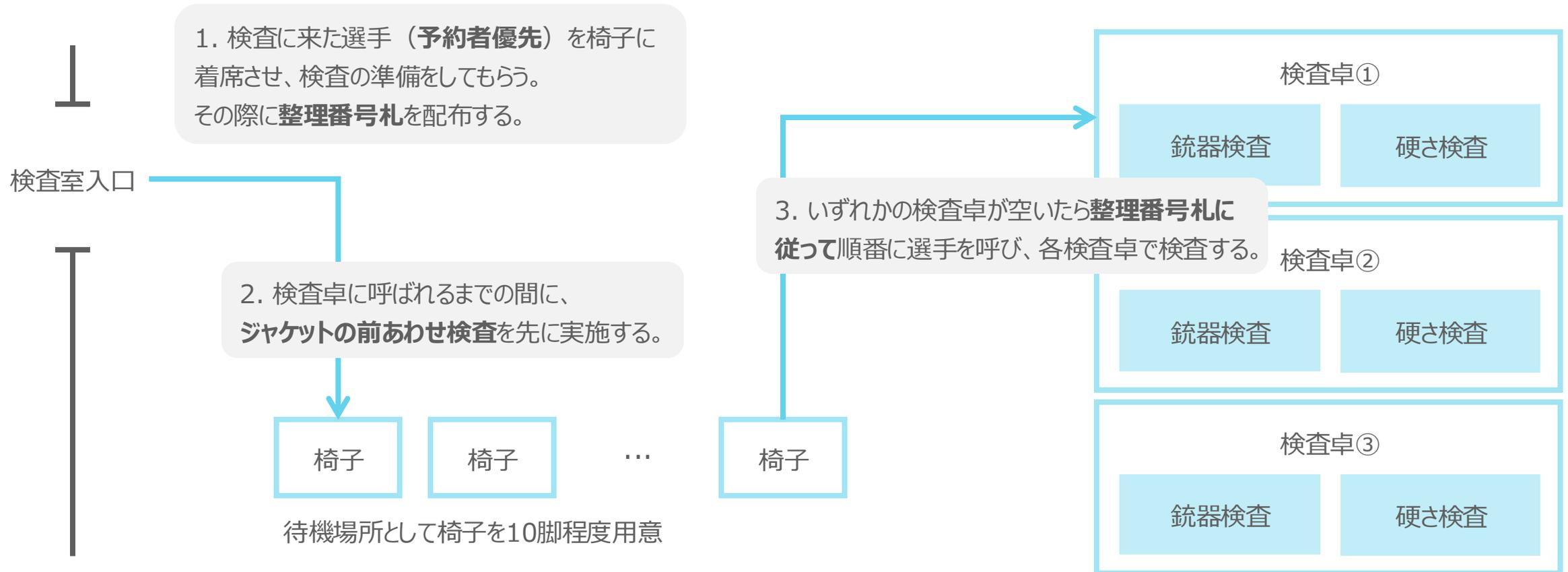
例：インカレで、ECO向けに各セクションごとに検査項目とマニュアル・テンプレートを共有した

例：拡大コピーした規格イラストをラミネートし、銃器検査エリアに設置する



- 検査導線、手順の工夫をする

例：インカレ2024 で、銃器およびジャケットを計測できる卓を3卓用意し、同時に3名の選手が検査できるように検査器具を購入・準備。近隣県からも用具を借用した。予約制・整理券制を導入した。



5. 用具検査の工夫

例：WSPSの大会、選手と用具検査の項目が多いのが特徴

- ピistolとライフルで受付から分け、あらかじめスケジュールを組む（10分間隔でライフル2-3名ずつ、同じ国で固めている）
- 昼休憩の時間をあらかじめ設定しておく（誰も抜けられなくなる）
- 用具検査票のチェックやサイン漏れが発生しやすいため、必ず最後にジュリーがチェックする
- 同じセクションは同じ人が担当するとスピードが上がる
- 硬さ検査は時間がかかるため、同じ箇所では3.0を下回る数値が2回出たら次の箇所を測り、次の人に進む

例：WSPS WC 2025 のECスケジュール表

	29 May 2025			30 May 2025			31 May 2025		
	R-SH1	R-SH2	PISTOL	R-SH1	R-SH2	PISTOL	R-SH1	R-SH2	PISTOL
08:30				IND 65353	ESP	ESP			
08:40	Equipment Control Closed			NEP, NEP			Equipment Control Closed		
08:50									
09:00	KOR	KOR, KOR	KOR, KOR	ESP		IND, IND	JPN 59441	TPE 65387	
09:10	KOR	KOR	KOR, KOR			IND, IND	KOR 64708	TPE 65345	
09:20			KOR			IND, IND	KOR 64706	TPE 65377	
09:30		KOR, KOR		JPN	JPN, JPN			SGP 3778	
09:40	AUS, AUS	KOR, KOR	SWE	JPN, JPN	JPN	JPN, JPN	AUT, AUT	HKG, HKG	
09:50	AUS, AUS					GEO			
10:00	JPN	JPN							
10:10				NPA	NPA	NPA, NPA			
10:20	FRA, FRA	FRA, FRA	FRA			KAZ			
10:30		FRA, FRA				KAZ, KAZ			
10:40	POL		POL						
10:50	POL, POL		POL		POR	HUN 10542			
11:00			POL		FRA, FRA	FRA			
11:10	HUN	GEO							
11:20	BRA	BRA				TPE, TPE, TPE			

6. 人員配置の工夫

■ 事前にコンペティションマネジャーと連携し、役員配置を決定する

- グレードと規程に合った人数を配置できているか？

参照：[第3章 競技運営規程 公認競技会の格付規程](#)

- 各セクションに 1-2 人は業務内容を熟知している人を配置する
- その人に業務マネジメントを任せることができる

■ 事前にジュリーリストや主任・長リストを用意し、依頼時に業務内容を伝える

- 主任や長は連絡や共有の窓口として機能してもらう
- メンバーに業務内容を伝達してもらう

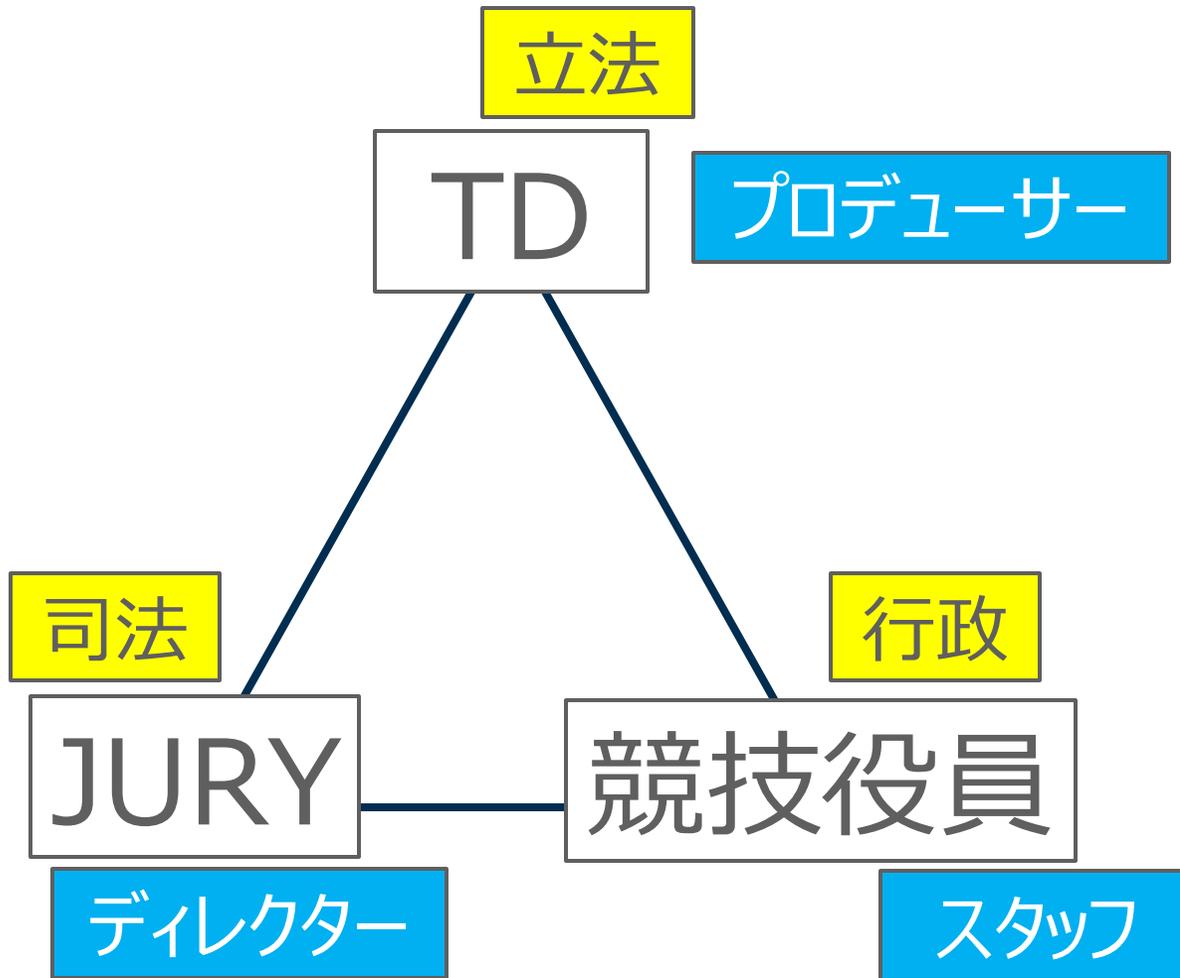
今後もこのような情報提供を歓迎しております

G1、G2に限らず、皆様が運営として携わった**多様な競技会の知見**を、競技運営委員会宛にお知らせください



競技運営の知見・事例共有

講師：平井さん



目標：いい作品を作る



いい競技会を実施する



「いい」って、何？



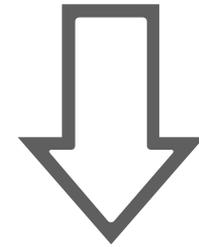
オリンピックのような最高の舞台

オリンピックのような最高の舞台



- ・ 施設、設備（射場、標的）
- ・ スケジュール
- ・ 宿泊、食事、交通
- ・ ITO、NTO（ジュリー、競技役員）
- ・ 放送、観客対応、メディア対応
- ・ スポンサー、広告
- ・ etc...

どこが(だれが)整えるのか？



組織(実行)委員会

TDの仕事は組織委員会との交渉

組織(実行)委員会とは？

G4、G3大会 ⇒ 大会主催競技団体
県ラ協会、県高体連専門部

G2、G1大会 ⇒ 大会主管競技団体
(日ラ単独主催大会) 県ラ協会、県高体連専門部
ブロック連合、地区高体連専門部

G2、G1大会 ⇒ 大会実行委員会
(日ラ共同主催大会) 国スポ実行委員会

組織(実行)委員会が射撃関連団体のとき

県ラ協会、県高体連専門部、ブロック連合、地区高体連専門部など

- ・ 競技のことは良くわかっているが、情報が古かったり、慣習的なルールが存在する。
- ・ 資金、人員は不足のみである。

TDとしては、

- ・ 資金、人員に無理のない形で大会が実施できるような計画を提案する。
- ・ 情報の更新と慣習的なルールの改善を促す。

組織(実行)委員会が射撃関連団体でないとき

都道府県国スポ実行(準備)委員会、市町村国スポ実行(準備)委員会

- 競技のことは全くと言っていいほどわかっていない。
- 競技会(大会)のこともよくわかってないことが多い。
- 規則、手続きに厳格な(融通が利かない)場合が多い。
- 資金、人員は豊富(?)だが、出したがらない。
- 費用削減が最高の正義だと思っているふしがある。
- ただ、結局最後には「金で解決できる事には金を出す」となる。

TDとしては、

- ・ 競技会（大会）のことを、よく説明してあげる。
- ・ 競技（ライフル射撃）のことを、よく説明してあげる。
- ・ 警察とのからみを、よく説明してあげる。⇒ 対応を担当することになる。
- ・ 大会までの残り時間を認識させる。
- ・ 図上リハでなく、実地リハの重要性を認識させる。
- ・ 「最後には金は出す」と信じて、関係を悪化させない。

TDの心得

- 目標は「いい競技会を実施する」。
- 「いい」の見極めをする。
(競技会の格、予算、役員動員数などを考慮して、無理のない)
- 相手にも「理屈」があることを理解して交渉する。
- 机上ではなく、実地を心がける。
- 競技会関係者との良い関係を作り、保つように心がける。
- 想定外の事態が起こることも想定しておく。

さいごに

再掲：TD名簿への新規掲載を希望される方へ

- 新規の掲載を希望される方は、別途ご案内した
 - ① **2023年度の講習の受講**
 - ② **2025年6月中に試験フォームの提出**が必要です。

試験フォーム：<https://forms.gle/ZK9KknVguYmhVeGP9>

皆様へ：アンケート回答のお願い

- 積極的なご回答をお願いいたします
- 回答期限は**2025年6月中**です



<https://forms.gle/dKgUqJA1YXzQXJyR8>

- その他お問い合わせは競技運営委員会のメールアドレスへお願いいたします
kyogi@riflesports.jp

ご参加ありがとうございました